

2024年12月期 第1四半期決算説明資料

STOCK CODE : 3695

GMO RESEARCH & AI

代表取締役社長 細川 慎一
取締役グローバルCFO 森 勇憲

2024年5月8日

目次

1. 結論と要約

2. 事業概況

Appendix

1. 結論と要約

結論と要約 | 決算サマリー (第1四半期)

- ✓ **売上高**：前年比▲4.6%だが、2Qまで続く特殊要因(約1.8億円)を除くと前年比+9.1%。
特に、国内事業会社向けは、前年比+57%。全体的には想定範囲内。
- ✓ **売上総利益**：粗利率は前年と同率。
ポイント原価率は改善したが、売上減により原価内の固定費率が上昇。
- ✓ **販管費**：営業体制変更、AI活用、CASHMART事業、海外為替影響等による増加。

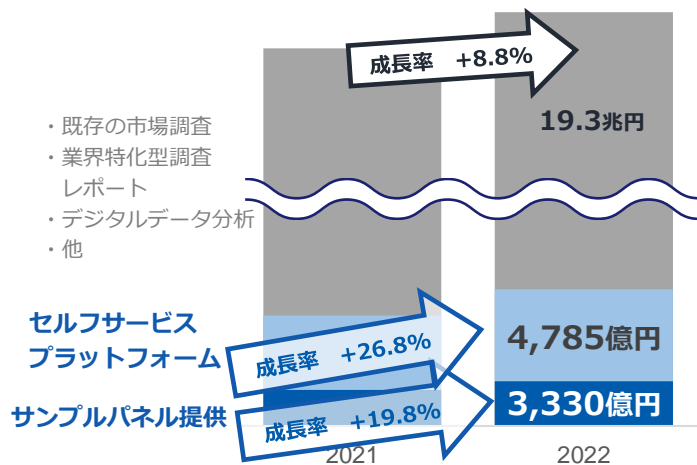
(単位：百万円)	2023 (1-3月)	2024 (1-3月)	増減額	増減率
売上高	1,427	1,361	▲65	▲4.6%
売上総利益	716	683	▲32	▲4.5%
販売管理費	518	564	+45	+8.9%
営業利益	198	119	▲78	▲39.6%
経常利益	191	122	▲69	▲36.3%
最終利益	135	92	▲43	▲32.1%

2. 事業概況

事業概況 | 世界のリサーチ市場トレンド

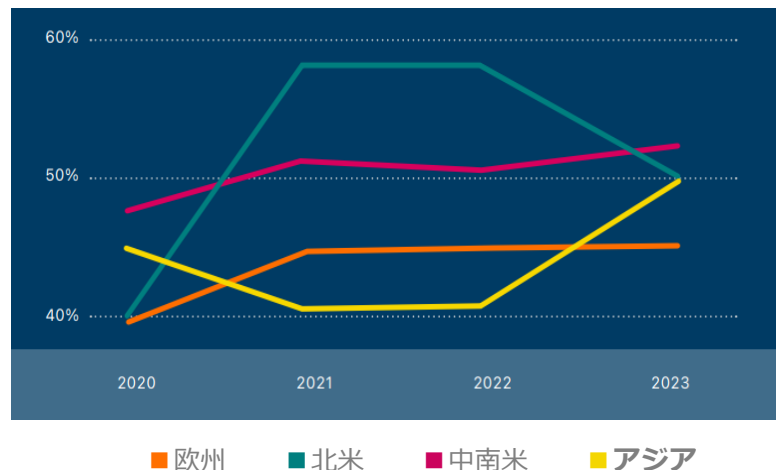
- ✓ 業界の中でも特に大きな成長をしているセルフサービスプラットフォーム市場とサンプルパネル提供市場。
- ✓ セルフサービスプラットフォーム市場の成長は調査内製化率の高まりトレンドに起因。

世界データ分析・インサイト（従来のリサーチ）市場



USD/JPY=150円

調査内製化率推移（%）



出所) ESOMAR, Global Market Research 2023, Global Users & Buyers of Insights 2023, JMRA第48回経営業務実態調査, 当社有価証券報告書

事業概況 | 粗利率の高い取引に注力

国内

- ✓ サンプルパネル提供市場ではシェア率1位
- ✓ 成長著しいセルフサービスプラットフォーム市場で急成長中。

海外

- ✓ 特にアジアのサンプルパネル提供市場にフォーカスし、調査会社向け販売を拡大することで粗利率を改善中。

事業会社

* AIで調査設計、レポート内製化

急成長中

粗利率
74%*

調査会社（調査設計＋レポート）

国内シェア 67% 1位

既存の市場調査市場

世界シェア 2% 9位

粗利率
59%*

急成長中

粗利率
51%*

グローバルパネル会社

粗利率
37%*

GMO RESEARCH & AI

セルフサービスプラットフォーム市場

AI機能を拡充し、内製化の後押し

サンプルパネル提供市場

AI機能を拡充し、業界全体の生産性・付加価値向上

2023年 平均粗利率* : パネル原価のみ勘案（人件費除く）

事業概況 | 業界全体のトレンド変更・特殊要因の影響概要

- ✓ 2024年1Qにおいて特殊要因の影響額は前年対比で1.8億円。
- ✓ 2024年2Qまで継続し、3Q以降は発生しない予想。

業界全体のトレンド変更・特殊要因

- ✓ 高原価案件の絞り込み (開始時期 前年対比影響額)

海外

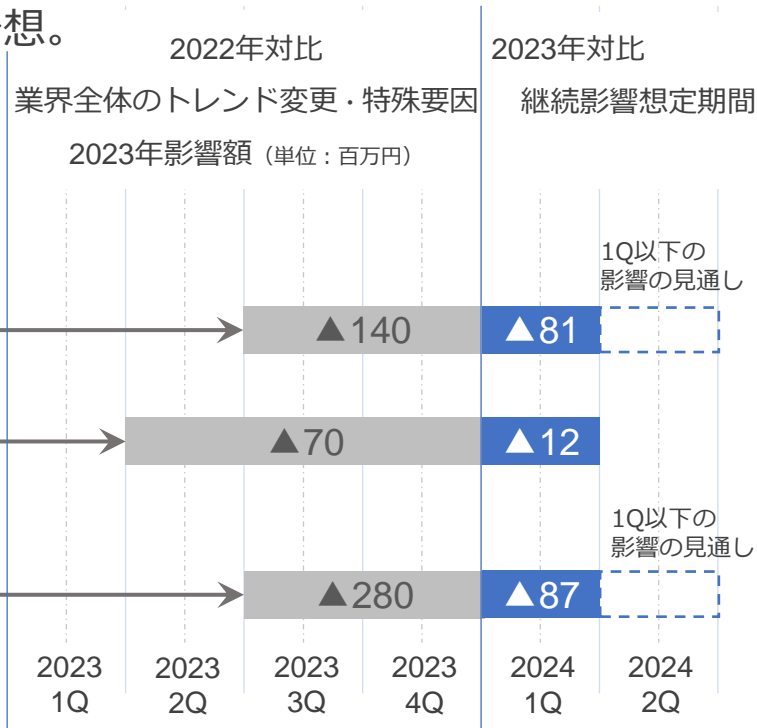
グローバルパネル連携
23年3Q ~

中国・インド調査会社
23年2Q ~

- ✓ 資本再編・特定大型案件の減少 (開始時期 前年対比影響額)

国内

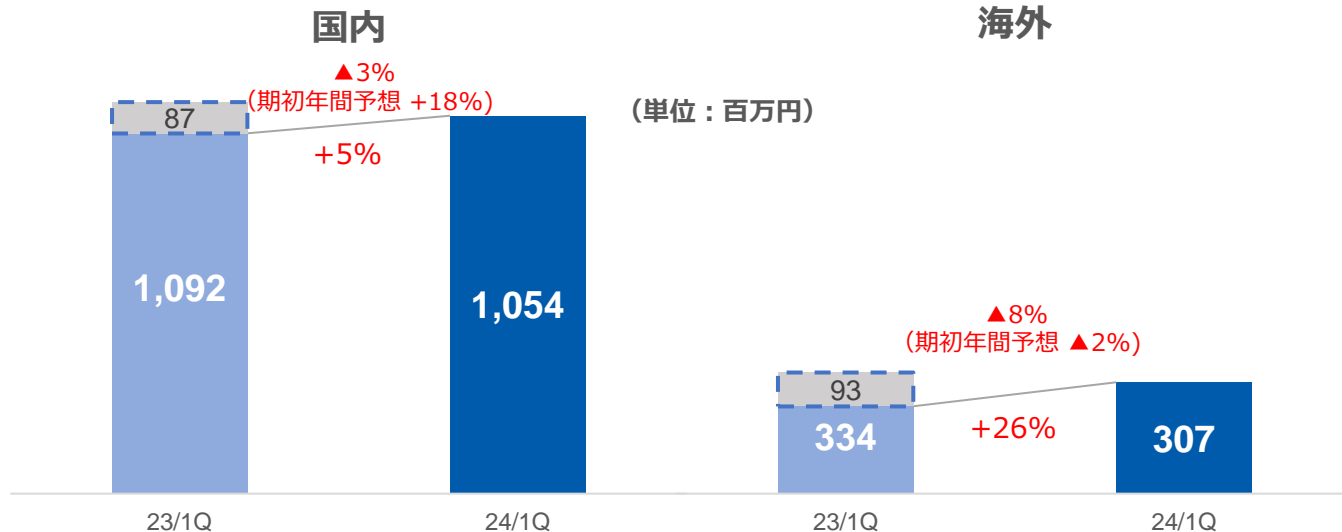
23年3Q ~



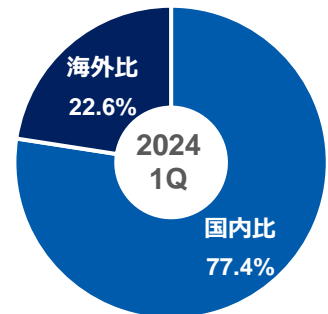
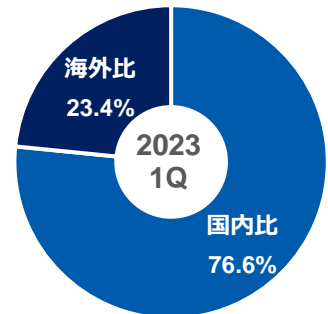
事業概況 | 国内・海外売上高 1Q実績

- ✓ 国内は、前年比▲3%。
業界全体のトレンド変更・特殊要因による影響が約87百万円。
その分を除けば前年比+5%。

- ✓ 海外は、前年比▲8%。
業界全体のトレンド変更・特殊要因による影響が約93百万円。
その分を除けば前年比+26%。



売上構成比



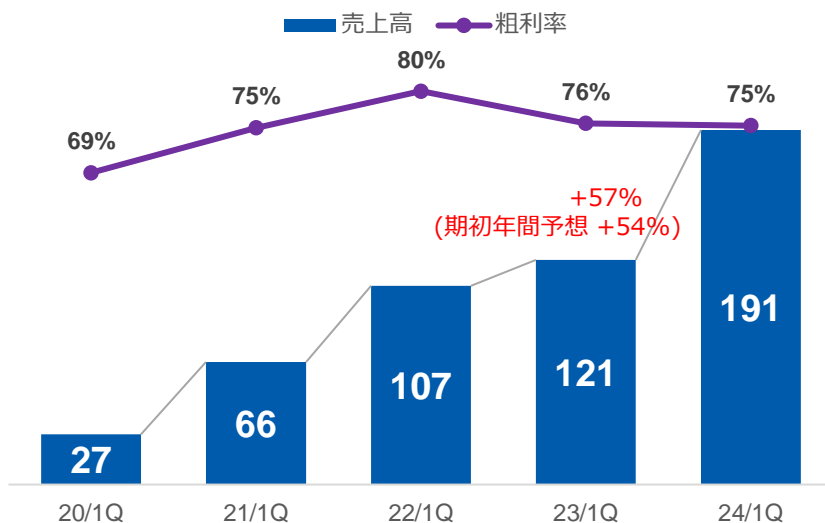
事業概況 | 国内販売先別 1Q実績

(単位：百万円)

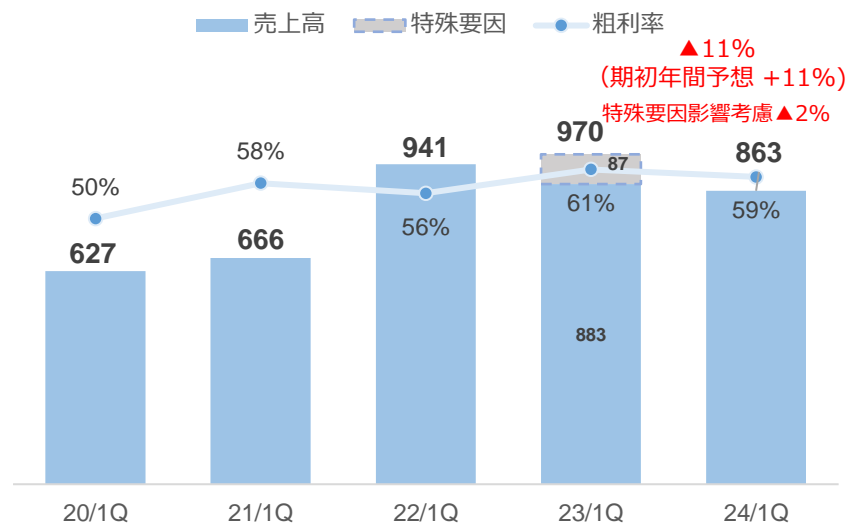
- ✓ 事業会社向けは、売上高前年比+57%と想定通り成長。
- ✓ 粗利率も高く維持。

- ✓ 調査会社向けは、特殊要因を除けばほぼ下げ止まり。粗利率もほぼ前年並み。

国内1Q 事業会社



国内1Q 調査会社



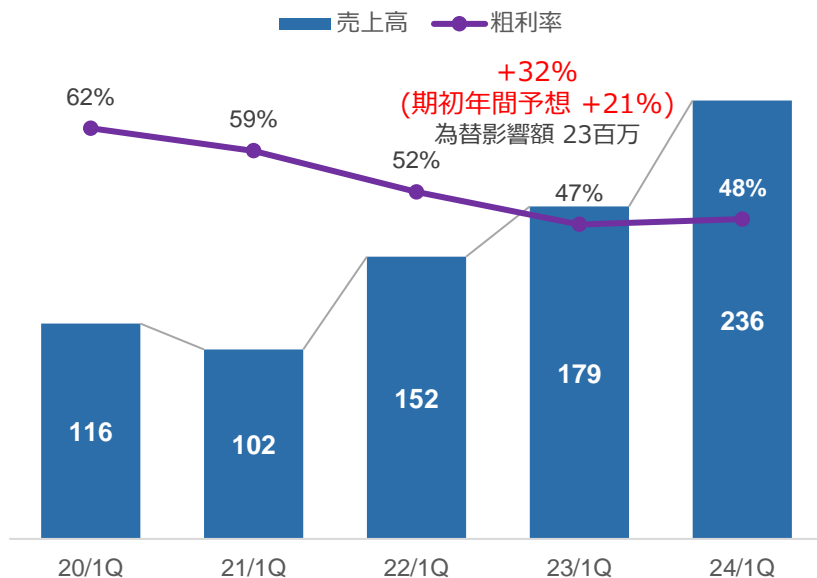
事業概況 | 海外販売先別 1Q実績

(単位：百万円)

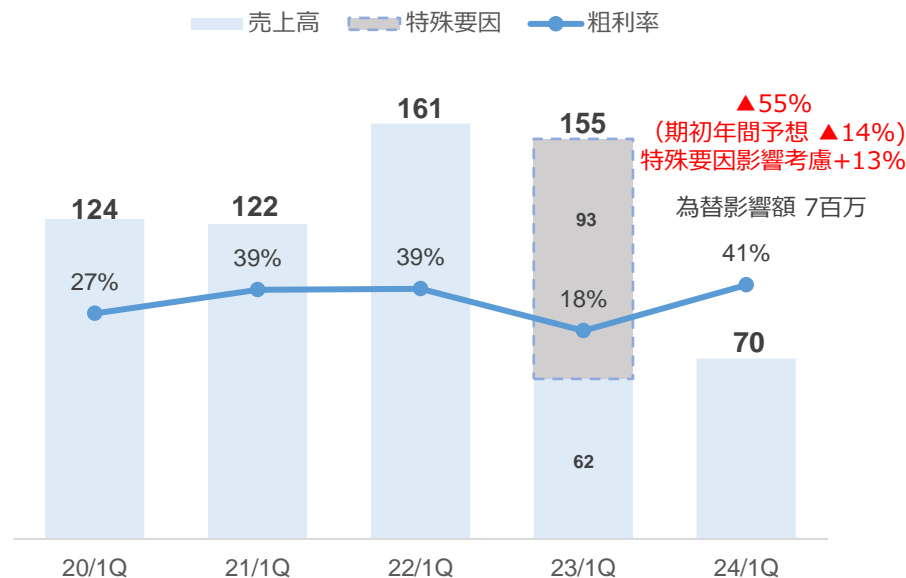
- ✓ 調査会社向けは、継続成長で粗利率も前年比改善。

- ✓ グローバルパネル会社向けは、特殊要因除けば下げ止まり。粗利率は前年比改善。

海外1Q 調査会社



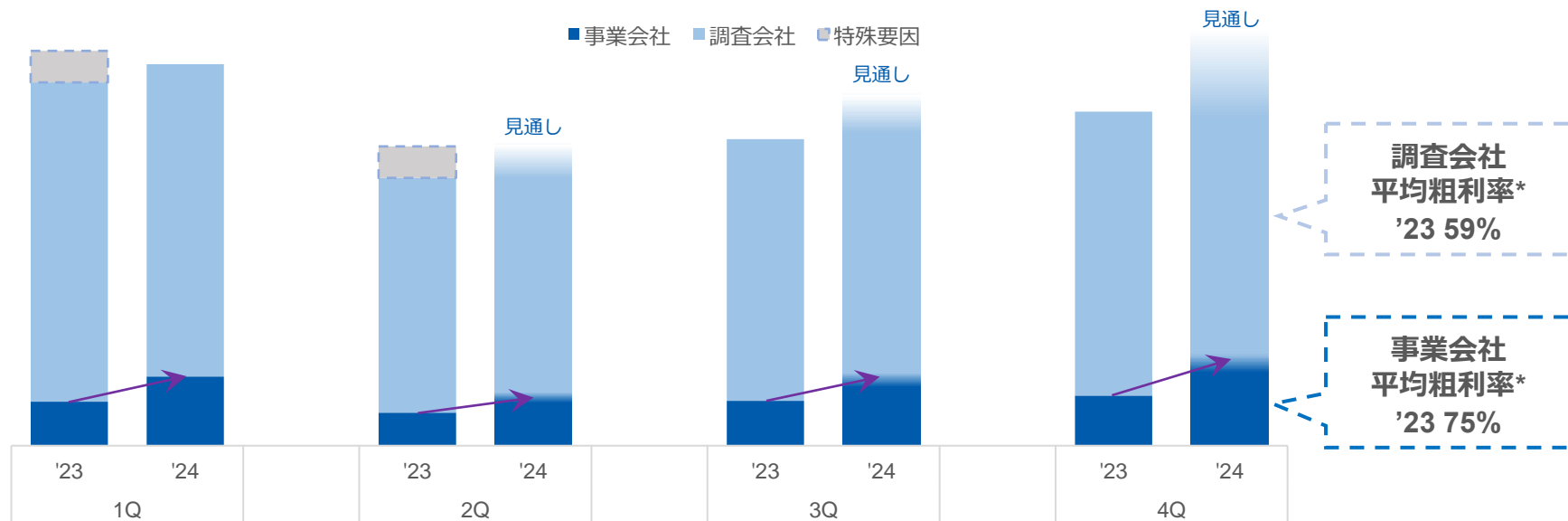
海外1Q グローバルパネル会社



事業概況 | 国内販売先別 通期見通し

- ✓ 粗利率の高い事業会社向け売上は2Q以降も継続成長の見通し。
- ✓ 調査会社向け売上は2Qまで対前年度比で特殊要因影響は継続、3Q以降は影響ない見通し。

国内

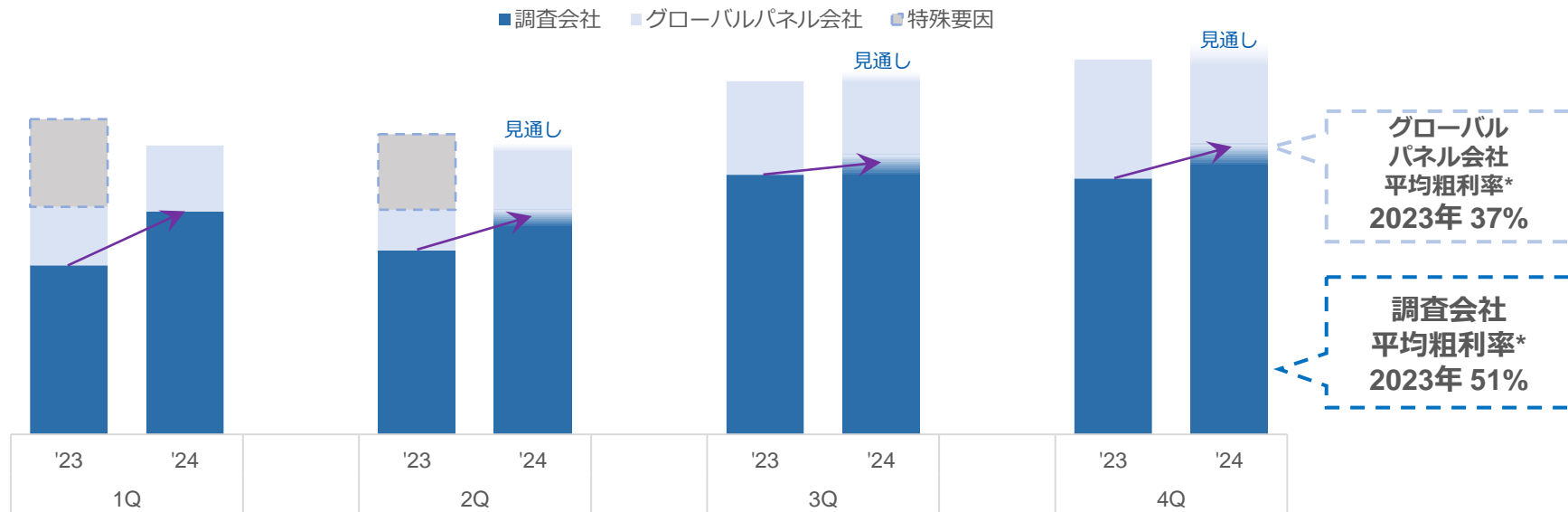


平均粗利率* : パネル原価のみ勘案 (人件費除く)

事業概況 | 海外販売先別 通期見通し

- ✓ 粗利率の高い調査会社向け売上は2Q以降も継続成長の見通し。
- ✓ グローバルパネル会社向け売上は2Qまで対前年度比で特殊要因影響は継続、3Q以降は影響ない見通し。

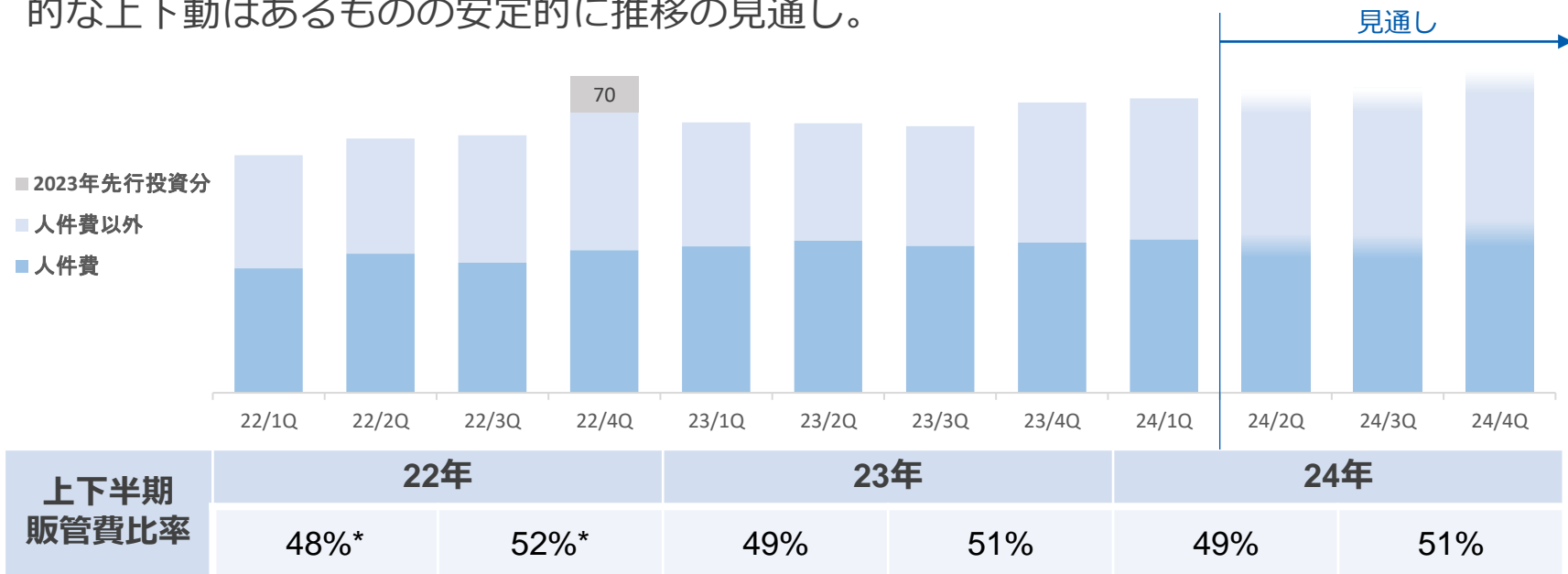
海外



通期平均粗利率* : パネル原価のみ勘案 (人件費除く)

事業概況 | 販管費推移 通期見通し

- ✓ 2024年1Qは、人件費も含め販管費全体で、販売先フォーカス変更・AI体制等の体制整備投資・CASHMART分（事業譲受）・為替影響による増加。
- ✓ 2024年2Q以降は、全体の50%程度の人件費は通常と同様の傾向。人件費以外は季節的な上下動はあるものの安定的に推移の見通し。



*2022年4Q 2023年への先行投資分除き

社名変更

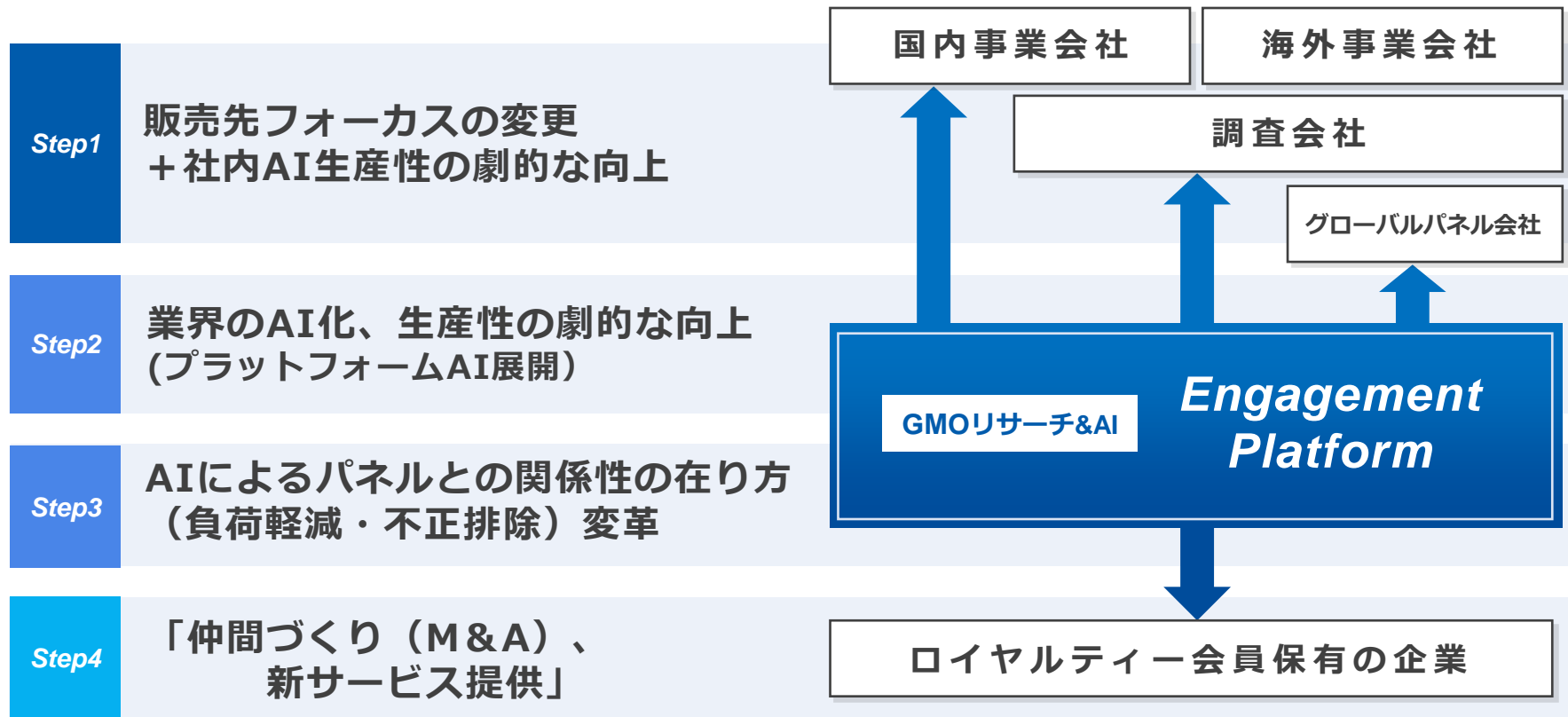
2024年5月1日より

GMOリサーチ & AI株式会社

当社プラットフォームのAI化を進めることで、業界全体のAI化を促進し、AIによる大きな変革の波をリードする意思を示しております。

市場調査・マーケティング領域においてAIを駆使して革新していくという覚悟を持ち、業界全体の生産性向上と市場拡大を推進します。

事業概況 | 当社の今後の成長ステップー概略



事業概況 | 当社の今後の成長ステップー時間軸



Appendix

- 連結損益計算書・連結貸借対照表
- 直近の主なリリース
- 国内インサイト市場 各セグメント概要
- ビジネスモデル
- パネルネットワーク
- 業界トップクラスの収益力
- 各拠点人員数推移

Appendix | 2024年1Q 連結損益計算書

(単位：百万円)	2023年 1-3月	2024年 1-3月	前年同期比
売上高	1,427	1,361	95.4%
売上原価	710	677	95.4%
売上総利益	716	683	95.5%
（売上総利益率）	(50.2%)	(50.2%)	(+0.0pt)
販売費及び一般管理費	518	564	108.9%
（販管費率）	(36.3%)	(41.4%)	(+5.1pt)
営業利益	198	119	60.4%
（営業利益率）	(13.9%)	(8.8%)	(▲5.1pt)
経常利益	191	122	63.7%
当期純利益	135	92	67.9%

Appendix | 2024年1Q 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2023年12月末	2024年3月末	前期末比
流動資産	2,485	2,475	99.6%
現金及び現金同等物	1,334	1,276	95.6%
固定資産	508	569	112.1%
資産合計	2,993	3,045	101.7%
流動負債	931	1,052	113.0%
固定負債	14	14	100.9%
負債合計	946	1,067	112.8%
純資産	2,047	1,978	96.6%
(純資産比率)	(68.4%)	(65.0%)	(▲3.4pt)

Appendix | 直近の主なリリース

日付	タイトル	URL
2023/10/13	生成AIの利用実態・意識調査を日米で実施 生成AIを「チャンス」と考える人は米国が日本の約2倍 ～ビジネスにおける生成AIの利用経験が脅威をチャンスに転換させる～	https://gmo-research.jp/pressroom/survey/voluntary-survey-20231013
2023/10/27	セルフ型アンケートプラットフォーム「GMO Ask」 「ITreview Grid Award 2023 Fall」の「アンケート作成」部門で『Leader』賞を受賞	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20231027
2023/11/6	通期業績予想の修正に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20231106579633_P01_.pdf
2023/12/8	お金を払ってでも生成AIを利用したい人はわずか5%にとどまる ～日本国内の生成AIトレンドを追いかける定点調査をスタート～	https://gmo-research.jp/pressroom/survey/voluntary-survey-20231208
2023/12/18	事業の譲受に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20231218504802_P01_.pdf
2024/1/15	本部長職・部長職の異動に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_2024011513311_P01_.pdf
2024/2/19	取締役候補者選任に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20240218538977_P01_.pdf
2024/2/19	室長職の選任に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20240218538978_P01_.pdf
2024/2/19	剰余金の配当に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20240218538979_P01_.pdf
2024/2/19	商号の変更及び定款の一部変更に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20240218538980_P01_.pdf
2024/3/12	事業計画及び成長可能性に関する説明資料	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20240312552211_P01_.pdf
2024/3/22	生成AIの利用経験者が3か月で2倍に増加 ～日常的な活用には課題が残る。「使いやすさ」「精度・信頼性」の向上が重要～	https://gmo-research.jp/pressroom/survey/voluntary-survey-20240322
2024/4/11	AIを駆使した調査リリース作成サービス「GMO Ask for 調査リリース」を提供開始 ～国内2,800万人のモニター・AIを活用し、調査・分析・作成をワンストップで対応～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20240411
2024/4/25	AIチャットボットを「infoQ」に導入し顧客サービスを向上 ～AIを活用したサポート機能によりユーザーへセルフサービスを提供し、サービス体験の向上を実現～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20240425

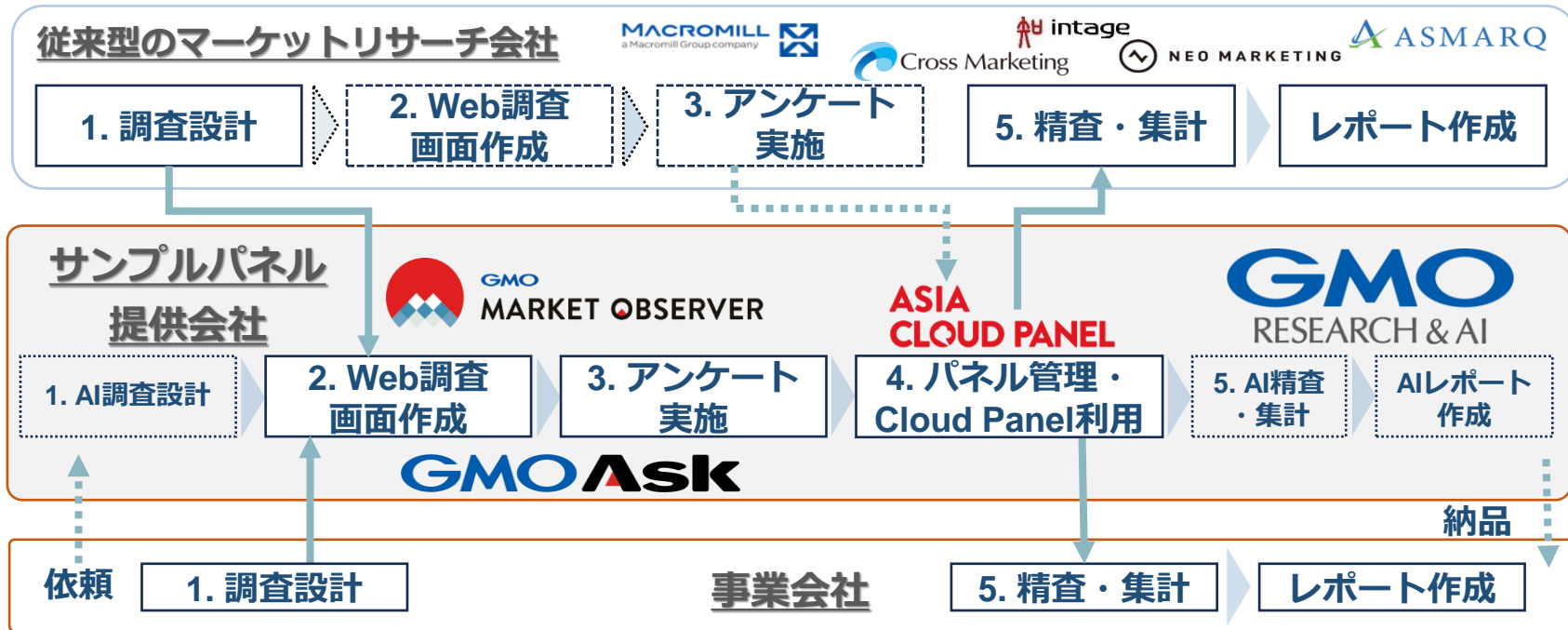
Appendix | 国内インサイト市場 各セグメント概要

国内市場合計
1,933億円

カテゴリー	セグメント	億円	セグメントの解説	代表的な企業例
テクノロジー 主導調査	企業内フィードバックシステム	58	調査データを含む社内外の多様なDBを一元化し、継続的・自動的に収集更新したデータをプラットフォームツールで提供	Medallia, Verint, Forsta
	セルフサービスプラットフォーム	25.8	自社開発のDIY調査集計システムや、AIを活用したデータ分析ツールを提供。またはクラウド環境を通じて調査/集計システムを貸し出し。	Qualtrics, Momentum, Toluna
	ソーシャルリスニング・コミュニティ	2.5	SNSやオンライン上のテキスト、画像・動画データを収集・分析し、その分析結果を基に広報PR戦略等を支援。顧客コミュニティ運営ツールの提供も。	Cision, Splinklr, ホットリンク
	デジタルデータ分析	14.2	Webやオンライン上のビッグデータを収集し、外部データや顧客DB等を合わせて分析	Adobe, Salesforce, Oracle, ALBERT, プレインバッド
レポート ニング	経営コンサルティン グ・シンクタンク	12.6	調査やデータ分析からさらに進んで、顧客企業の経営戦略変革提案までを手がける。日本ではシンクタンクによる調査研究・コンサル事業を含む。	McKinsey, BCG, Deloitte, Accenture, PwC, 三菱総研
	業界特化型 調査レポート	73.9	特定の業界（IT、自動車等）に専門特化し、デスクリサーチやヒアリング調査等を通じて情報を収集・分析し、汎用レポート・カスタムレポート・DB等を提供。	矢野経済、富士経済、JD Power, Gartner, IDC
確立された 市場調査領 域	サンプルパネル提供	52	自社でアクセスパネル（調査モニター組織）を構築し、外販する。国際的な連携・協力関係が深化している。	Dynata, Cint, Prodege, GMOリサーチ&AI
	（従来型の） 確立された市場調査	1,693	伝統的な定量・定性調査、従来からあるデータ分析業務、集計業務棟。	MACROMILL, ASMARQ, Cross Marketing, NEO Marketing

Appendix | ビジネスモデル

業界最大規模のパネルネットワーク活用により、高い収益力が実現。さらに、調査会社向けに培ったパネル提供システムを事業会社への提供で、さらなるパネル活用と販売効率化が実現。



Appendix | パネルネットワーク

- アジア16の国と地域で6,119万人超の業界最大規模のパネルネットワークを構築
- 大型・複数ヶ国にまたがる案件に対応可能であり、競争力、提案力が高くなる
- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルを質量ともにさらに充実させることで、アジアの調査対応地域の深耕とエリアの拡大を進めます。

 **infoQ** GMO <https://infoq.jp/>

 日本
29,133,000

 中国大陸
19,966,000

 **infoQ** GMO <https://infoq.vn/>

 ベトナム
1,039,000

 韓国
972,000

 **Z.com** Research <https://knowledgeprovider.z.com/>

 インド
772,000

 香港
55,000

 **Z.com** Research GMO-Z.com ACE Co., Ltd. <https://mm.zresearch.asia/>

 ミャンマー
26,000

 台湾
1,051,000

 **Z.com** Research Net Design <https://research.z.com/th/>

 タイ
905,000

 インドネシア
4,151,000

 **Z.com** Research <https://sg.research.z.com/>

 シンガポール
52,000

 アラブ首長連邦
300

 フィリピン
1,612,000

 オーストラリア
126,000

 マレーシア
1,324,000

 ニュージーランド
10,000

アジア **16** の国と地域
6,119 万人

(2024年4月現在)

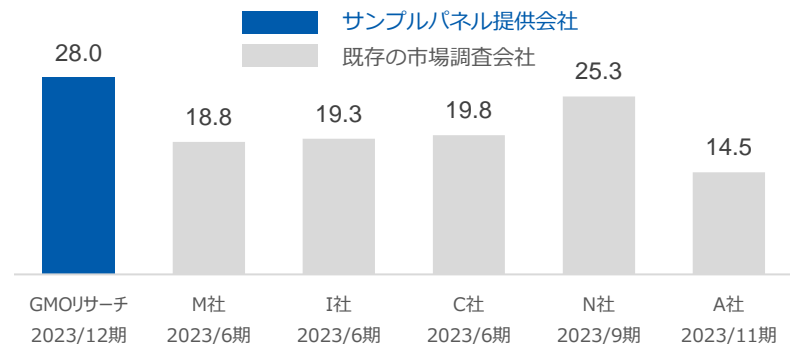
Appendix | 業界トップクラスの収益力

当社が属するサンプルパネル提供会社は既存の市場調査会社(*1)とは業態が違い、収益力(一人あたり売上高)が高く、スケールメリットが出やすい業態です。

一人あたり売上高 (*2)(*3)

(単位：百万円)

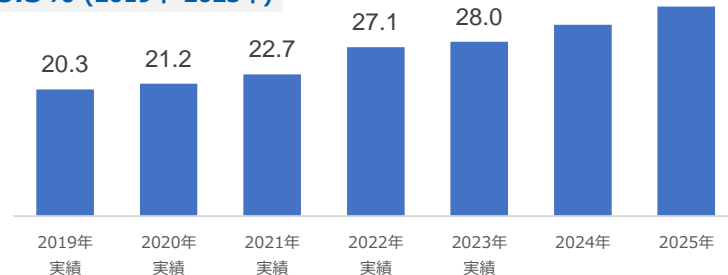
他社比較



(単位：百万円)

当社実績と今後の方針

平均成長率(CAGR)
8.3% (2019年-2023年)



(*1) 日本国内で上場するマーケティングリサーチサービスの提供会社
M社：株式会社マクロミル
I社：株式会社インテージホールディングス
C社：株式会社クロス・マーケティンググループ
N社：株式会社ネオマーケティング
A社：株式会社アスマーク

(*2) 比較対象会社の財務数値につきましては、各社が公表している有価証券報告書・四半期報告書に記載の数値によっております。

(*3) 従業員数を使用して計算しております。

Appendix | 各拠点人員数推移

(単位：人)

各拠点における正社員数の推移

	東京	下関その他	シンガポール	マレーシア	インド	中国	米国	合計
拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> 本社機能 国内欧米営業、PJ管理 国内パネル管理 システム開発 	<ul style="list-style-type: none"> 国内PJ管理、国内営業・営業補助 国内パネル管理 システム開発 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア営業 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 アジアパネル管理、開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米/東南アジアPJ管理、営業補助 ローカル営業 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 PJ管理 中国パネル管理 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 PJ管理 	
2019年7月1日時点	94	18	3	5	14	8	-	142
2020年1月1日時点	94	22	3	6	14	8	-	147
2020年7月1日時点	97	24	3	6	14	5	-	149
2021年1月1日時点	102	27	3	6	15	4	-	157
2021年7月1日時点	106	26	3	9	16	6	-	166
2022年1月1日時点	108	28	3	9	17	6	-	171
2022年7月1日時点	112	29	2	12	16	7	3	181
2023年1月1日時点	112	33	2	14	20	7	3	191
2023年7月1日時点	109	37	3	16	23	7	3	198
2024年1月1日時点	103	33	3	15	21	5	3	183
2024年7月1日予想	110	33	3	16	21	4	6	193
半期人員増減数	+7	±0	±0	+1	±0	-1	+3	+10
補足	販売先方針変更による営業強化						営業強化のため業務委託から正社員への登用	

想いを、世界に

Engaging people around the world

GMO RESEARCH & AI

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。
従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。